



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月24日

上場会社名 株式会社 植松商会 上場取引所 東  
コード番号 9914 URL http://www.uem-net.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 誠一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 阿部 智 TEL 022-232-5171  
半期報告書提出予定日 2024年10月30日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月21日～2024年9月20日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,134	△10.7	23	△44.4	71	△12.5	49	△15.9
2024年3月期中間期	3,511	5.2	42	18.2	81	13.5	59	76.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	22.22	—
2024年3月期中間期	25.85	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	4,843	3,062	63.2
2024年3月期	5,431	3,026	55.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 3,062百万円 2024年3月期 3,026百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,650	△8.3	50	△46.0	120	△28.5	83	△25.9	37.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	2,340,000株	2024年3月期	2,340,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	97,858株	2024年3月期	97,858株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	2,242,142株	2024年3月期中間期	2,291,391株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間会計期間の末日現在において判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2024年3月21日～2024年9月20日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要や輸出関連企業を中心とした好業績に支えられ緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界的な金融引き締めに加えて中国経済の減速、長期化するウクライナ情勢や中東地域の情勢悪化等による資源価格高騰や急激な円安の進行などに伴う物価高の影響などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する機械工具業界におきましては、半導体市場の回復が見られましたが、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響もあり低調に推移しました。

このような状況のもと、当社は、「中期経営計画 モノづくりにおける持続的成長発展を支える(2023年3月期～2026年3月期)」の3年目として、目指すべく「社員の働き甲斐を追求し、高い収益性を保ち、顧客と社会に貢献する。より良いモノづくりの伴走者」の重点施策である収益力の向上、企業価値の向上、人材育成の各取り組みに努めてまいりました。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高につきましては高水準な受注残に支えられた前年同期に比べ、機械を中心に減収となり、3,134百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

損益面では、売上減少に伴う利益減の影響が大きく、営業利益23百万円(前年同期比44.4%減)、経常利益71百万円(前年同期比12.5%減)、中間純利益49百万円(前年同期比15.9%減)となりました。

取扱商品別売上高の内訳は、下記のとおりです。

商 品 分 類	売 上 高	前 年 同 期 比 増 減 率
機 械	198百万円	△54.1%
工 具	710百万円	△12.4%
産 機	1,557百万円	△2.7%
伝 導 機 器	372百万円	4.7%
そ の 他	294百万円	△5.0%
合 計	3,134百万円	△10.7%

なお、セグメントについては、当社は機械、工具及び産業機械・器具等の販売事業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

## ① 資産、負債および純資産の状況

## (資産)

総資産は、4,843百万円となり前事業年度末に比べ、587百万円減少しました。この主な要因は、流動資産において、現金及び預金504百万円、受取手形及び売掛金144百万円、商品78百万円等の減少要因により流動資産合計は672百万円の減少となりました。有形固定資産と無形固定資産については、重要な増減はありませんでした。投資その他の資産については、投資有価証券が市場価格の上昇等により89百万円の増加となり、固定資産合計は85百万円の増加となりました。

(負債)

負債合計は、1,780百万円となり前事業年度末に比べ、623百万円減少しました。この主な要因は、流動負債において、支払手形及び買掛金289百万円、電子記録債務255百万円、未払法人税等37百万円等の減少要因があり、流動負債合計は648百万円の減少となりました。固定負債においては、繰延税金負債23百万円等の増加により、固定負債合計は24百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は、3,062百万円となり前事業年度末に比べ、36百万円増加しました。主な要因は、中間純利益49百万円と配当金の支払い67百万円により利益剰余金は17百万円の減少となりましたが、その他有価証券評価差額は53百万円の増加となりました。

なお、当中間会計期間末における自己資本比率は63.2%となり、前事業年度末に比べ7.5%上昇しております。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ504百万円減少して、502百万円(前年同期比30.9%減)となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は419百万円(前年同期は383百万円の収入)となりました。その主な要因は、税引前中間純利益71百万円、売上債権の減少額92百万円、棚卸資産の減少額78百万円等の資金増加要因がありましたが、一方で、仕入債務の減少額545百万円と法人税等の支払額57百万円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12百万円(前年同期は47百万円の収入)となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得による支出9百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は73百万円(前年同期比21.7%増)となりました。その主な要因は、配当金の支払額67百万円とファイナンス・リース債務の返済による支出6百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、現時点においては2024年4月26日付の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

（1）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年3月20日)	当中間会計期間 (2024年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,008,212	503,329
受取手形及び売掛金	1,500,910	1,355,950
電子記録債権	697,375	750,171
商品	354,217	275,501
その他	9,073	11,999
貸倒引当金	△348	△80
流動資産合計	3,569,441	2,896,871
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	59,030	59,761
土地	123,211	123,211
その他（純額）	45,269	40,213
有形固定資産合計	227,511	223,186
無形固定資産	19,439	20,914
投資その他の資産		
投資有価証券	1,481,496	1,570,729
その他	142,009	141,114
貸倒引当金	△8,563	△9,029
投資その他の資産合計	1,614,942	1,702,814
固定資産合計	1,861,893	1,946,915
資産合計	5,431,335	4,843,786
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	920,622	631,175
電子記録債務	969,526	713,897
未払法人税等	65,000	27,703
賞与引当金	29,100	22,100
役員賞与引当金	28,900	9,550
その他	138,268	98,709
流動負債合計	2,151,416	1,503,135
固定負債		
退職給付引当金	20,662	24,953
役員退職慰労引当金	75,800	79,350
繰延税金負債	97,631	120,786
その他	59,021	52,641
固定負債合計	253,115	277,730
負債合計	2,404,532	1,780,865

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月20日)	当中間会計期間 (2024年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,550	1,017,550
資本剰余金	1,174,798	1,174,798
利益剰余金	660,576	643,121
自己株式	△83,278	△83,278
株主資本合計	2,769,645	2,752,190
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	257,157	310,730
評価・換算差額等合計	257,157	310,730
純資産合計	3,026,802	3,062,920
負債純資産合計	5,431,335	4,843,786

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
売上高	3,511,369	3,134,605
売上原価	3,029,458	2,676,215
売上総利益	481,910	458,389
販売費及び一般管理費	439,366	434,737
営業利益	42,543	23,652
営業外収益		
受取配当金	13,883	25,494
仕入割引	21,135	21,623
その他	5,819	2,439
営業外収益合計	40,838	49,557
営業外費用		
支払利息	135	1,037
不動産賃貸費用	810	813
為替差損	882	—
その他	110	96
営業外費用合計	1,938	1,948
経常利益	81,444	71,261
特別利益		
投資有価証券売却益	41,567	—
特別利益合計	41,567	—
特別損失		
投資有価証券売却損	25,734	—
その他	103	—
特別損失合計	25,838	—
税引前中間純利益	97,172	71,261
法人税、住民税及び事業税	41,028	24,630
法人税等調整額	△3,095	△3,178
法人税等合計	37,932	21,452
中間純利益	59,239	49,809

（3）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2023年3月21日 至 2023年9月20日）	当中間会計期間 （自 2024年3月21日 至 2024年9月20日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	97,172	71,261
減価償却費	4,301	9,084
賞与引当金の増減額（△は減少）	8,600	△7,000
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△13,050	△19,350
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,625	4,291
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,500	3,550
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△10	196
受取利息及び受取配当金	△17,591	△25,959
投資有価証券売却損益（△は益）	△15,832	—
支払利息	135	1,037
固定資産除却損	103	—
売上債権の増減額（△は増加）	13,345	92,164
棚卸資産の増減額（△は増加）	19,991	78,715
仕入債務の増減額（△は減少）	293,131	△545,076
その他	△11,043	△46,777
小計	386,381	△383,860
利息及び配当金の受取額	16,601	23,324
利息の支払額	△135	△1,037
法人税等の支払額	△18,857	△57,729
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>383,989</b>	<b>△419,303</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,263	△2,834
無形固定資産の取得による支出	—	△3,400
投資有価証券の取得による支出	△695,119	△9,325
投資有価証券の売却による収入	744,002	—
投資不動産の取得による支出	△1,340	—
貸付けによる支出	△2,000	—
貸付金の回収による収入	1,645	565
その他	2,804	2,837
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>47,729</b>	<b>△12,157</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	500,000
短期借入金の返済による支出	—	△500,000
配当金の支払額	△57,291	△67,264
自己株式の取得による支出	△2,202	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△839	△6,158
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△60,333</b>	<b>△73,422</b>
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	371,385	△504,883
現金及び現金同等物の期首残高	356,064	1,007,630
現金及び現金同等物の中間期末残高	727,450	502,746

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

前中間会計期間(自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)及び当中間会計期間(自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)

当社は、機械、工具及び産業機械・器具等の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。